

### 第43期 定時会員総会 事業報告

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

我が国の経済は、景気が緩やかに回復しており、県内の経済の項目別では個人消費が持ち直している・生産活動が緩やかに回復している・雇用情勢が改善していると判断しているが、いずれも横ばいという状況で推移しています。

バス事業においては、軽井沢スキーバス事故を受けて様々な対策がとられており、貸切バスにおいては、新運賃制度により運賃の改善は見られたところがありますが、需要増加にはなかなか結びついていない状況が続いています。

燃料価格は昨年に比べやや上昇傾向にあり、ほぼ3年前の価格で推移しております。観光やインバウンドに期待するものの、慢性的な旅客減少や深刻さを増す運転者不足等、依然として厳しい1年でした。

- ① 安全性の確保については、これまでも事業における最重要事項として取り組んできたが、軽井沢町で発生したスキーバス事故により、貸切バス事業を中心に、国の指示に基づき運行管理・整備管理体制の強化等々様々な見直しがありその徹底を図った。昨年8月からは適正化実施機関による貸切バス事業の巡回指導も開始された。
- ② 運転者不足が深刻であることから、行政にも要請するとともに、バスの日のイベント等により広く県民に現状を訴えるなど確保に向けた取り組みを行った。
- ③ 乗合バスは旅客減少により厳しい状況が続いているが、地域バス交通の維持は重要であることから、維持に係る補助等について関係機関に支援措置を要請した。
- ④ 貸切バスの新運賃制度は着実に浸透しつつあるが、本制度を確固たるものとするため、引き続き周知に努めた。

1. 協 会 員 (平成30年3月31日現在)

一般乗合 22社  
一般貸切 63社  
会 員 数 64社

2. 役 員 (平成30年3月31日現在)

会 長 理 事	信南交通株式会社 代表取締役社長	中 島 一 夫
副会長理事	アルピコ交通株式会社 代表取締役会長	堀 籠 義 雄
副会長理事	長電バス株式会社 代表取締役社長	湯 本 卓 邦
専 務 理 事	公益社団法人 長野県バス協会 専務理事	倉 島 義 和
理 事	千曲バス株式会社 代表取締役社長	高 野 公 秀
理 事	和田バス有限会社 代表取締役社長	相 馬 靖 子
理 事	平成交通有限会社 代表取締役社長	齧 進
理 事	茅野バス観光株式会社 代表取締役社長	小 池 源 一
理 事	草軽交通株式会社 代表取締役社長	遠 藤 孝
理 事	伊那バス株式会社 代表取締役社長	藤 澤 洋 二
理 事	アルピコ交通株式会社 代表取締役社長	三 澤 洋 一
監 事	宇賀田会計事務所 公認会計士	宇賀田 伸 彦
監 事	中央アルプス観光株式会社 代表取締役常務	田 村 芳 成

3. 専門委員会委員長 (平成30年3月31日現在)

総 務 対 策 委 員 長	信南交通株式会社 代表取締役社長	中 島 一 夫
労 務 対 策 委 員 長	アルピコ交通株式会社 代表取締役会長	堀 籠 義 雄
補助税制対策委員長	千曲バス株式会社 代表取締役社長	高 野 公 秀
乗合バス対策委員長	長電バス株式会社 代表取締役社長	湯 本 卓 邦
貸切バス対策委員長 (観光バス涉外対策委員長)		
	アルピコ交通株式会社 代表取締役社長	三 澤 洋 一
安 全 輸 送 委 員 長	平成交通有限会社 代表取締役社長	齧 進
環 境 対 策 委 員 長	茅野バス観光株式会社 代表取締役社長	小 池 源 一

#### 4. 会 議

##### (1) 協会主催の主なる会議

###### ① 総会

○定時会員総会 平成29年6月5日 ホテルブエナビスタ

- 議題
1. 平成28年度事業報告について
  2. 平成28年度収入支出決算について
  3. 任期満了に伴う役員選任について
  4. 平成29年度事業計画について
  5. 平成29年度収入支出予算について
  6. その他

○臨時会員総会 平成29年10月17日 ホテル信濃路

- 議題 理事の選任について

###### ② 理事会

○平成29年5月18日 ホテル信濃路

- 議題
1. 定時会員総会に提出する議案について
  2. 役員を選任について
  3. 協会長表彰について
  4. 新規入会について
  5. 会費徴収規程の一部改正について

○平成29年6月5日 ホテルブエナビスタ

- 議題
1. 会長・副会長・専務理事の選任について
  2. 専門委員会委員長及び日本バス協会委員会委員について

○平成29年9月28日 ホテル信濃路

- 議題
1. 理事の選任について
  2. 臨時会員総会の開催について
  3. 新規入会について
  4. 平成30年度、国・県への要望について

○平成30年3月13日 ホテル信濃路

- 議題
1. 平成30年度事業計画及び収支予算について
  2. 新規入会について
  3. 貸切バス適正化事業について

③ 専門委員会

○総務対策委員会代表者会議

平成29年4月24日 ホテル信濃路

- 議題
1. 平成28年度長野県バス協会長表彰について
  2. 新規入会希望事業者について
  3. デスティネーションキャンペーン負担金について

○補助税制及び乗合バス・貸切バス各対策委員会合同会議

平成29年5月8日 ホテル信濃路

- 議題
1. 運輸事業振興助成交付金関係について
  2. 日本バス協会の補助事業について
  3. 信州デスティネーションキャンペーンについて
  4. 貸切バスに係る事業許可更新制度・民間適正化事業実施機関負担金制度について

○安全輸送委員会

平成29年5月22日 ホテル信濃路

- 議題
1. 運輸安全マネジメント制度の今後のあり方について
  2. 事業用自動車事故調査報告書について
  3. 交通事故の発生状況等について

○補助税制及び乗合バス・貸切バス各対策委員会合同会議

平成29年10月17日 ホテル信濃路

- 議題
1. 貸切バス適正化事業について
  2. 平成29年協会補助事業の状況について
  3. 「バスの日」事業について
  4. 平成30年度国・県予算施策に対する要望事項について

④ 新年会 平成30年1月29日 ホテルブエナビスタ

支局長講演

「貸切バスの安全対策の取組状況及び観光政策の取組について」

(2) 協会が出席した主なる会議

- 北陸信越バス協会役員会 H29. 7. 11 富山市
- 北陸信越バス運転者確保対策会議 H29. 7. 21 北陸信越運輸局
- 北陸信越貸切バス適正化センター総会 H29. 6. 27 新潟県トラック会館
- 貸切バス巡回指導等打合せ会議 H29. 8. 8 H29. 10. 3 北陸信越運輸局
- 貸切バス適正化センターの今後の運営に係る運輸局長との懇談会  
H30. 2. 8 金沢市
- 北陸信越地域事業用自動車安全対策会議  
H30. 3. 7 石川県トラック会館
- 労働時間管理適正化指導員会議 H29. 7. 12 長野労働基準監督署
- 長野県自動車標板協会 評議員会 H29. 5. 24 メルパルク長野
- 「プロドライバー事故防止コンクール」  
実行委員会 H29. 4. 7 H29. 6. 22 保健福祉事務所  
表彰式 H29. 5. 12 ホテル国際 2 1
- 交通事故ゼロチャレンジ実行委員会  
総会 H29. 4. 19 保健福祉事務所
- 長野県交通安全教育支援センター  
意見交換会 H29. 5. 22 ホテルメトロポリタン長野  
評議員会 H29. 6. 7 支援センター
- 長野県交通安全協会  
評議委員会 H29. 6. 14 ホテルメトロポリタン長野
- 交通安全関係団体連絡会議 H29. 7. 6 ホテル国際 21
- 長野県高速道路交通安全協議会  
総会 H29. 7. 10 ホテルメトロポリタン長野
- 長野県防災会議 H30. 3. 13 県庁
- 長野県道路整備期成同盟会 総会 H29. 8. 30 ホテル国際 21  
国等への要望活動 H29. 11. 10 国土交通省ほか
- 信州道ビジョン有識者会議  
準備会 H29. 4. 11 県庁  
委員会 H29. 8. 3 H29. 9. 20 H29. 11. 20 県庁ほか
- 長野県移動性・安全性向上委員会 H29. 8. 10 県庁
- 長野県公共交通活性化協議会  
バス交通専門部会 H29. 8. 30 県合同庁舎別館

- 地域における移動手段の確保・補完に関する検討会
  - ～生活交通部会・観光交通部会・その他～
  - 準備会 H29. 4. 18 県庁
  - 生活交通・観光交通合同部会 H29. 5. 11 保健福祉事務所
  - 生活交通部会 H29. 7. 20 保健福祉事務所
  - 観光交通部会 H29. 8. 24 長野市生涯学習センター
  - 生活交通部会 H29. 9. 19 県合同庁舎別館
  - その他（貨客混載意見交換会） H29. 11. 2 保健福祉事務所
  - 生活交通部会 H29. 12. 14 長野上水内教育会館
  - その他（全般意見交換会） H30. 1. 18 県庁
  - 生活交通・観光交通合同部会 H30. 3. 20 保健福祉事務所
- 長野都市圏総合都市交通計画委員会
  - H29. 7. 19 トイーゴ H30. 2. 5 県庁
- 長野県薬物乱用対策推進協議会
  - 総会 H29. 4. 27 長野市生涯学習センター
- 「社会を明るくする運動」長野県推進委員会 H29. 5. 1 県庁
- 暴力追放県民センター評議委員会 H29. 6. 2 ホテル信濃路
- 不正軽油撲滅協議会 H29. 6. 13 県庁
- 事故対策機構計画協議 H30. 3. 14 自動車事故対策機構
- 運行管理者一般講習打合せ会議 H29. 8. 2 長野県トラック会館
- 運行管理者試験担当者研修会 H30. 2. 1 東京
- 整備管理者研修
  - 打合会議 H29. 6. 9 運輸支局 検討会 H30. 3. 15 ホテル信濃路
- 自動車点検整備推進運動打合会議 H29. 8. 9 自動車整備振興会
- 第 82 回国民体育大会・第 27 回全国身障者スポーツ大会
  - 設立総会並びに常任委員会 H29. 12. 20 ホテル国際 21
- テロ対策パートナーシップながの設立総会 H29. 12. 19 県庁
- 第 36 回全国都市緑化信州フェア（31. 4. 25～6. 16 開催）
  - 交通対策専門部会 H30. 2. 15 県庁
- 訪日外国人受け入れ連絡会 H29. 4. 26 北陸信越運輸局
- 観光ビジョン推進北陸信越ブロック戦略会議
  - H29. 12. 21 新潟県トラック会館
- 長野県観光機構 理事会
  - H29. 6. 8 パスターミナル会館 / H29. 11. 13 H30. 3. 26 経営者協会

- 信州キャンペーン実行委員会  
H29. 6. 15 H29. 11. 10 H30. 1. 25 H30. 3. 13 保健福祉事務所
- 長野県観光産業振興協議会  
総会 H29. 6. 15 ホテル国際 2 1  
委員会 H29. 7. 28 バスターミナル会館  
協議会 H30. 2. 7 県庁
- 長野県観光客安全対策推進会議 H29. 5. 19 県庁
- 長野県旅行業協会 総会 H29. 5. 25 ホテル翔峰
- 貸切許可更新制度及び適正化機関負担金収受に係る説明会  
H29. 5. 11 松本市 H29. 5. 12 長野市
- 地域公共交通活性化セミナー及び地域バス交通活性化セミナー  
H30. 2. 23 メルパルク長野

(3) 日本バス協会関係会議

- 定時会員総会・全国バス事業者大会 H29. 6. 23 経団連
- 全国バス事業者大会 H29. 11. 16 鹿児島市
- 定例理事会 H29. 5. 19 H29. 9. 12 H30. 3. 22 日本交通協会  
H29. 6. 23 H30. 1. 16 経団連
- 全国専務理事会 H29. 7. 13 札幌市 H30. 2. 23 日本交通協会
- 運営委員会 H29. 5. 19 H29. 9. 12 日本バス協会
- 労務委員会 H29. 12. 25 H30. 3. 15 日本交通協会
- 貸切委員会 H29. 12. 22 日本バス協会
- 安全輸送委員会 H29. 5. 24 日本交通協会
- 地方交通委員会 H29. 5. 29 東京国際フォーラム
- 地方交通・環境対策委員会 H29. 7. 31 日本交通協会
- 中央技術委員会
  - ・ 委員会 H29. 4. 12 日本交通協会
  - ・ バス改善要望全国会議 H29. 8. 30 グランドプリンスホテル高輪
  - ・ 全国大会 H29. 11. 1 サンケイプラザ
- 環境対策委員会 H29. 11. 29 日本バス協会
- 交付金運用特別委員会  
H29. 5. 17 H29. 10. 31 H30. 2. 15 日本バス協会
- 新年賀詞交歓会 H30. 1. 16 経団連

## 5. 講習等

### (1) 運行管理者等指導講習会

○基礎講習	H29. 6. 7～9	浅間温泉文化センター	5名
	H29. 7. 5～7	長野県トラック会館	20名
	H29. 12. 6～8	長野県トラック会館	21名
	H30. 1. 24～26	松本キッセイ文化ホール	17名
		以上、自動車事故対策機構講習計	63名
	H29. 5. 26～30. 2. 4		
		アジマ自動車7講習計	18名
		(合計)	81名)

○一般講習	H29. 9. 8	長野県トラック会館	15名
	H29. 9. 27	松本キッセイ文化ホール	23名
	H29. 10. 6	長野県トラック会館	33名
	H29. 10. 12	伊那商工会館	12名
	H29. 10. 25	上小トラック研修会館	21名
	H29. 11. 8	佐久地区トラック研修会館	24名
	H29. 11. 14	長野県トラック会館	34名
	H29. 11. 29	松本キッセイ文化ホール	37名
	H30. 2. 9	松本キッセイ文化ホール	31名
		以上、自動車事故対策機構講習計	230名
	H29. 6. 13～30. 3. 6		
		アジマ自動車12講習計	67名
		(合計)	297名)

### (2) 整備管理者研修

	H29. 11. 13	上田市	11名
	H29. 11. 20	長野市	27名
	H29. 11. 27	佐久市	9名
	H29. 12. 4	長野市	21名
	H29. 12. 7	駒ヶ根市	10名
	H29. 12. 8	長野市	18名
		(合計)	96名)

### (3) 平成29年度運転適性診断(対前年増減数)

一般診断	614名(-139)	初任診断	207名(-5)
適齢診断	167名(+63)	特定診断	11名(+5)



## 6. 表彰関係【敬称略】

### (1) 平成29年度(第14回)協会長表彰

- ・協会事業に貢献功績顕著  
山谷観光バス(株)・(有)てまりバス・(株)アリーナ
- ・事故防止に関する功績顕著  
伊那バス(株)・おんたけタクシー(株)・  
(株)関電アメニックス・西武観光バス(株)

### (2) 平成29年度北陸信越運輸局長表彰

- ・事業功労 上田バス(株) 白井正博
- ・永年勤続 中央アルプス観光(株) 有賀次夫  
同 JRバス関東(株) 名和進

### (3) 平成29年度長野運輸支局長表彰

- ・事業功労 (株)裾花観光バス 佐野坂廣雄
- ・永年勤続 信南交通(株) 佐々木祥一  
同 上田バス(株) 吉山誠二・押金英雄・山本一彦  
同 アルピコ交通(株) 小林佳史・神戸重幸・塚田高司  
同 おんたけ交通(株) 下田治朗・小坂勝

### (4) 第40回プロドライバー事故防止コンクール表彰(H30.5.11)

- ・最優秀事業所 伊那バス(株)・おんたけタクシー(株)・  
(株)関電アメニックス・西武観光バス(株)
- ・優秀事業所 11社

### (5) 日本バス協会長表彰

- ・優良バス運転者 伊那バス(株) 5名・スマイル観光旭(株) 1名

### (6) 日本バス協会観光バスガイド褒賞

- ・長電バス(株) 1名・伊那バス(株) 2名

## 7. 事業概況

### (1) 総務関係

#### ① バスご利用感謝まごころサービス月間(H29.9.1~9.30)の取組み

- ・月間中「自主管理簿」による自主点検の実施
- ・各社社長以下全職員が「ワッペン」を装着し、運動を通して地域の皆様に対する感謝とサービス実施
- ・県主催の県下一斉ノーマイカー通勤ウィークにも連携した取組み実施

## 〈実施事項〉

### 「バスの日」の行事

#### 各社の取り組み

- ・ 9月20日（水）を街頭啓発デーとし、長野地区では長野駅にてグッズ等を配布するなど、各社独自の創意工夫による取り組み実施
- ・ バスマスク装着
- ・ ワッペン装着と「一言あいさつ運動」の実施
- ・ クリーンアップ作戦の実施

#### 協会の取り組み

- ・ 9月20日はSBCラジオのバスの日スペシャル企画にラジオスタジオにライブ出演し、バスの日のご歴史や日頃のバス利用のお礼、バス利用の促進、運転者不足の現状等々について情報発信するとともに、バスの日を前後してCMスポット放送により日頃の感謝と運転者募集など広報した。

## ② 交通安全運動・安全総点検への取り組み

適切な運行の確保、シートベルト着用の推進、車両の点検整備の実施等を中心に下記運動において周知徹底を期した。

- ・ 春の交通安全運動 (H29. 4. 6～4. 15)
- ・ 夏の交通安全やまびこ運動 (H29. 7. 22～7. 31)
- ・ 秋の交通安全運動 (H29. 9. 1～9. 30)
- ・ 年末の交通安全運動 (H29. 12. 1～12. 31)
- ・ 年末年始の輸送等に関する安全総点検 (H29. 12. 10～H30. 1. 10)

## ③ 北陸信越運輸局新年挨拶 (H30. 1. 18)

局長以下幹部への挨拶及び自動車交通部長との意見交換

## (2) 労務問題の対応

- ① 平成30年春季労使交渉について、円滑な交渉を図るため日本バス協会からの関連情報を収集し提供した。
- ② 各労働関係助成金等について一層の活用促進を図るため、労働局から資料を収集し周知を図った。

(3) 補助助成等及び税制対策

- ① 運輸事業振興助成交付金による補助事業は公益社団法人化に伴い、その対象はバス事業者全体になっているが、事前登録制にしていることから会員外の登録はなかった。
- ② 協会補助事業については、適性診断や運行管理者講習等全額補助事業については十分活用されたが、EMS・ドラレコや大型二種免許取得など自己負担が伴うものについては残額が出た。このため、運転者の安全対策関係等に転用した。(別表1・2参照)
- ③ 運転者不足が深刻であることから、日本バス協会と当協会の二重適用による、二種免許の取得補助により雇用の促進を図ったが、人材確保自体に困難な面があった。

(4) 乗合バス対策

生活路線は利用者の減少から維持が困難な状況が続いているが、乗合バスが生活に必要不可欠な交通手段であることをあらゆる機会をとらえて主張してきた。また、自治体主導で開催されている地域公共交通会議の場において地域乗合バス事業者の経験と実績を活用した交通体系が図られるよう対応してきた。

- ① 委員委嘱されている市町村の地域公共交通会議に極力出席し、各地域の交通計画の策定にあたりバス業界の立場で参画した。

(下記会議出席のほか書面による協議が多数あり。)

- ・長野市地域公共交通会議 H29. 11. 28 H30. 2. 16 H30. 3. 27
- ・佐久市 // H29. 6. 28 H29. 8. 3
- ・千曲市 // H29. 6. 20
- ・塩尻市 // H29. 6. 26 H30. 1. 10
- ・軽井沢町 // H29. 12. 25

- ② 県下一斉ノーマイカー通勤ウィーク(9月16~30日)の実施についてマイカー利用を自粛し、公共交通や徒歩、自転車等の「環境にやさしい通勤手段への転換と体を動かすきっかけづくり」を目的とする県の運動に協力して特別割引回数券の設定やICカードのポイント付加を行い推進を図った。

## (5) 貸切バス対策

平成27年4月からの新運賃制度はバス業界を大きく変える機会となり、運送収入は確実に向上しており、本制度を確固たるものとするため、引き続き周知に努めている。

国が掲げる安全・安心な貸切バスの運行を実現するための総合的な対策である85項目は、すべてが着手され、主なものとして貸切バス事業の5年ごとの許可更新制度、事業廃止の事前届出制、運行管理・整備管理体制の強化、貸切バス適正化実施機関による巡回指導の実施、旅行業者への行政処分の強化やランドオペレーターへの規制強化等がある。

- ① 各地域における貸切バス事業者間での運賃問題や、輸送秩序について会員・非会員を問わず意見交換を行う「地域懇話会」の開催について支援をした。
  - ・ 北信地域懇話会 (H30. 3. 20) 17社 22名出席
  - ・ 中信地域懇話会 (H30. 3. 22) 19社 23名出席
  - ・ 東信地域懇話会 (H30. 3. 2) 21社 31名出席 (行政、マスコミ含む)
  - ・ 南信地域懇話会 (未実施)
- ② 貸切バス事業者の安全性評価認定は制度発足から7年が経過し、これまでに31社が認定を受けており、認定による特典もあることから協会では補助制度により、会員全社の認定の推進を図った。
- ③ 全国各地域の道路管理者・イベント主催者等からの観光バス車両に係る周知依頼について迅速・適切に対応した。

## (6) 安全輸送体制等の確立

軽井沢町で発生したスキーバス転落事故に伴い、国交省及び日本バス協会からの指示の徹底を図った。

- ① バスの車内事故防止を図るため、7月をキャンペーン期間として取り組んだ。
- ② 整備管理者選任前研修の開催について、支局からの通知に基づき研修推進のため周知を図った。
- ③ 運行管理者研修の実施について、自動車事故対策機構からの要請を受け全事業者の運行管理者に周知を図った。(基礎講習・一般講習)
- ④ 自動車運転者時間管理等指導員制度に基づく事業者訪問  
労働局の委嘱を受け、社会保険労務士とともに会員を訪問し運転者の労働条件の改善に係る指導・助言を行った。(29年度 訪問事業者5社)

- ⑤ 運行管理者試験の長野県受託機関として試験を実施した。  
旅客モードの受験状況は下記のとおり。

第1回 H29. 8. 27 長野バスターミナル会館

(県内) 受験者 215名 合格者 67名 合格率 31.2%

(全国) 受験者 10,462名 合格者 3,694名 合格率 35.3%

第2回 H30. 3. 4 長野県農協ビル

(県内) 受験者 172名 合格者 53名 合格率 30.8%

(全国) 受験者 8,588名 合格者 2,928名 合格率 34.1%

(7) 輸送環境の改善及び環境対策

環境保全を積極的に推進するため「人と環境にやさしいバス等普及事業」や「国の低公害車導入補助事業」の周知を図った。

- ・ 不正軽油の使用により黒煙等の有害物質が増加することから自動車関係団体が協力・展開する撲滅対策に協力した。
- ・ 不正改造車の排除強化月間(H29.6.1~6.30)への取組
- ・ 自動車点検整備推進運動(H29.9.1~10.31)への取組(特に大型自動車については車齢や走行距離による車輪脱落事故や車両火災が多いので、未然防止のため日常点検に加え重点点検を実施)

(8) 広報活動の推進

- ① 長野県バス協会のホームページについて適時適切に更新し、最近の状況を提供した。また、協会主催の講習会への参加や補助制度の活用について、会員外バス事業者向けに広く情報提供を行った。
- ② 新聞・テレビ等を活用し、一般利用者に対し、バスの公共性・環境性等の周知を行った。
- ③ バスの日を中心とする広報活動の中で、バス利用の感謝を申し上げるとともに、運転者不足の現状をCMスポット放送やパンフレットの配布により周知を図った。